

● 地域提案型

平成22年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	安徽省における森林の路網整備に関する技術交流事業
3. 事業の背景と必要性	<p>安徽省では集中豪雨に伴う土砂災害、洪水の発生等の対策として計画的な森林整備を行っているが、今後、森林資源が成熟するに伴い、森林の公益的機能を維持しつつ、低コストで木材を搬出するためには、林道・作業道は必要不可欠となってきており、災害に強い林道・作業道の開設技術や管理方法の確立が急務となっている。</p> <p>高知県は、台風等の大雨による山地災害が多発しやすい条件の中で林道・作業道を開設してきた実績があり、低コストで、災害に強い道づくりに関するノウハウを有しており、森林を集約化した「森の工場」において、計画的で効率的な木材生産システムによる低コスト林業や木材の安定供給体制の構築を推進している。</p> <p>かかる状況の下、安徽省が抱えている課題の解決に向け、高知県の路網開設技術や集約化の技術を活用した協力が求められている。</p>
4. プロジェクト目標	林道及び作業道の計画から実施までのプロセスを段階ごとに学習することにより、路網開設に必要な技術を習得する。
5. 対象地域	安徽省
6. 受益者層（人数規模）	安徽省林業庁職員（約2千人）、安徽省住民（約6千万人）
7. 活動及び期待される成果	<p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 林道・作業道の計画から施行までの技術習得、現地での専門家派遣による技術指導や研修生による路網計画、技術基準、設計基準、管理基準等の習得等 作業道を活用した施業技術の習得、「森の工場」における森林整備と路網計画の習得等 <p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 安徽省での路網整備に必要とされる林道・作業道の開設技術や維持管理手法を習得する 作業道を活用した施業技術を習得する
8. 実施期間	2011年9月～2014年3月
9. 事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 高知県林業振興・環境部、各出先機関職員による受入研修生に対する座学及び現地での技術習得支援 安徽省林業庁による安徽省内各機関職員との技術交流支援
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	高知県
2. 対象国との関係、協力実績	<ul style="list-style-type: none"> 高知県海外技術研修員受入事業により19名を受入 内訳：1986年度1名、1995年度～2003年度 各年2名 計18名 2004年度～2006年度の草の根技術協力事業 研修員6名を受入 2007年度～2009年度の草の根技術協力事業 研修員3名を受入、技術職員6名を派遣 2001年10月（2005年3月まで）に高知県森林局と安徽省林業庁及び安徽省東至県との間で締結した「林業技術支援交流事業」により技術職員9名を派遣、民間ボランティア92名が交流